

於大のみち基本計画案 【生い立ち広場】

■施設計画方針

（１）周辺公共施設と連携するまちの前庭

周辺の公共施設と「於大のみち」を緩やかにつなぐ仕掛けとして、散策の途中で気軽に立ち寄れる 休息スペース と、季節の景観を楽しめる 小広場空間 をポイントとして配置します。
これらの広場は周辺公共施設と於大のみちが連結するアプローチ部分の周辺に設置することで、周辺公共施設の前庭空間として機能し、連続した利用を促す。

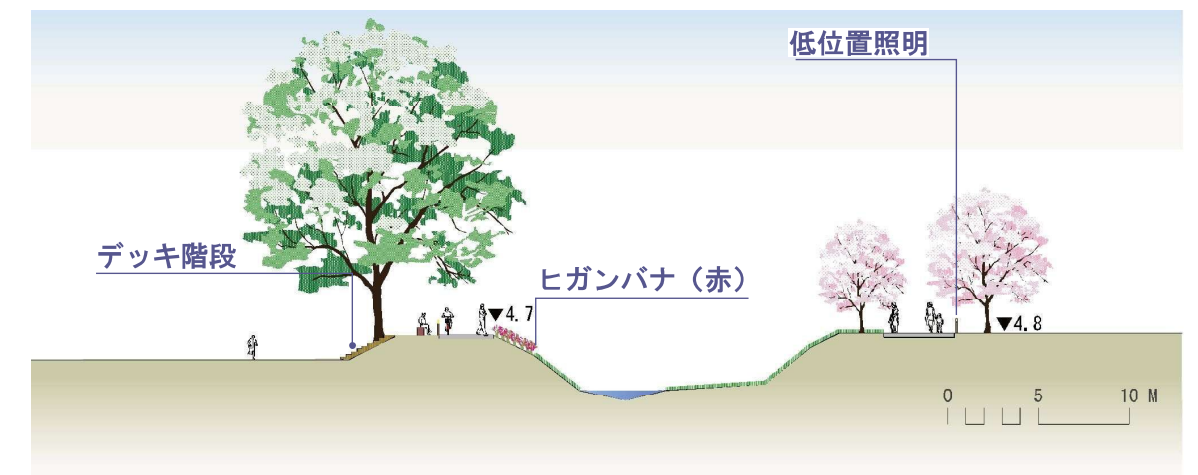
（２）歩行リズムに合わせて点在する小広場

休息空間には歩行者動線とパターンの違う舗装スペースを適度に設けることで空間を強調し、より立ち寄りやすい空間を創出する。

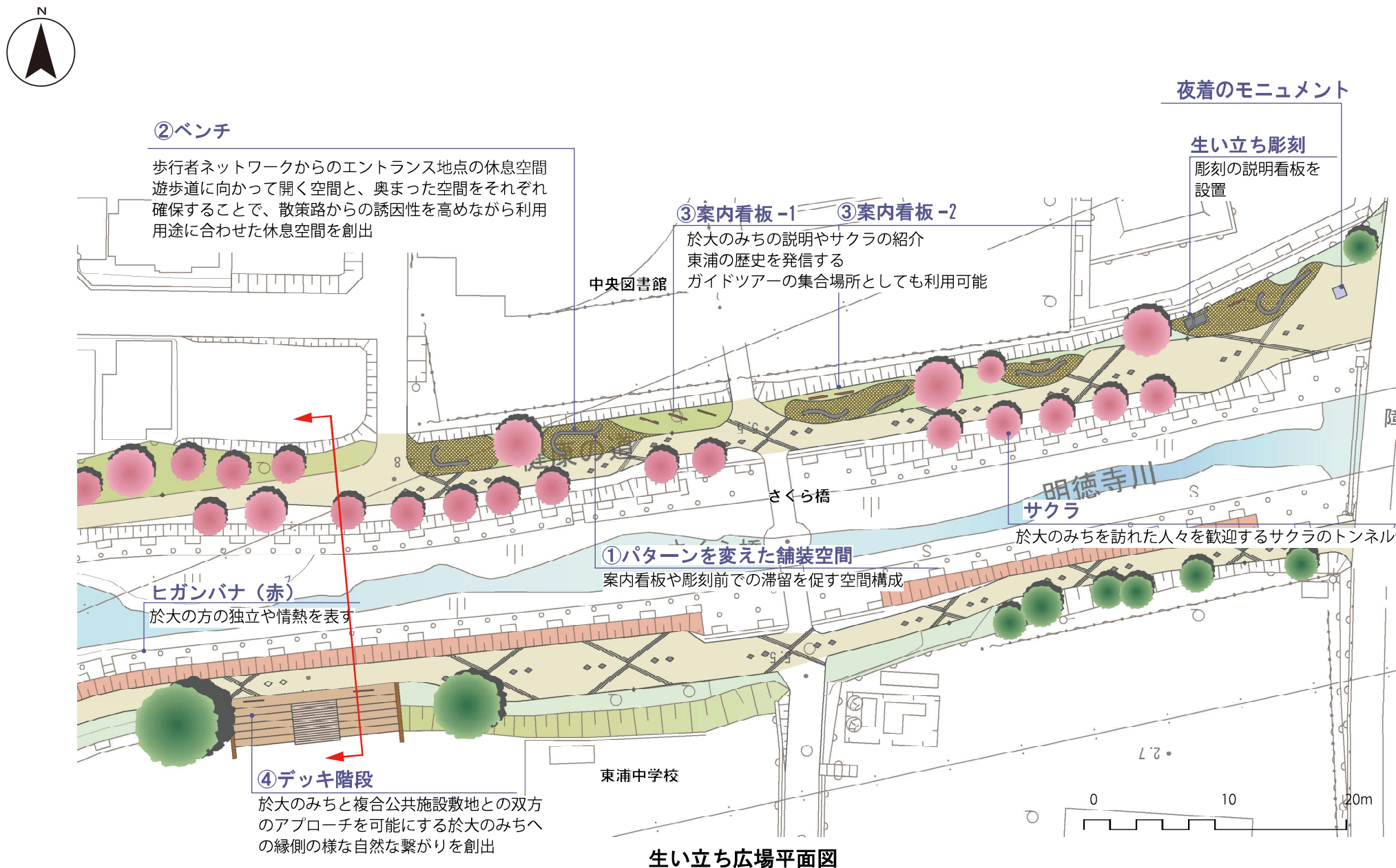
（３）まちの記憶を辿る情報発信拠点

周辺公共施設と連続して、東浦の歴史や文化、地域資源の情報発信機能を点在させます。
休息スペースと同じ空間内にサインを設置することで、東浦の歩みや魅力に「触れる・学ぶ・受け止める」体験を効果的に促します。
休息利用のついでに、サインが自然と目に入り 東浦の魅力に触れるきっかけを創出します。

■生い立ち広場断面図



■生い立ち広場平面図



■施設イメージ

①パターンを変えた舗装空間



②ベンチ



③案内看板-1



③案内看板-2



④デッキ階段



○一般舗装部

